

(四方面から続く)

む環境は年々厳しくなっており、また市民の希望が多い余暇を利用して行う市民農園、観光農園等新しい部門の成長も期待されている中、今度の農用地見直し及び座間市農業振興整備計画についてお考えをお示しください。

現在、農業振興地内に農用地として二重の網がかかっていることについて、栗原土地利利用研究会を始め、小池生産組合、上栗原東西生産組合からも、農業振興地域内農用地の撤廃を求める要望が提出されていると思うが、農業振興地域だけでも農用地になくとも、税制面・開発面においても、税制面・開発面においても、二重の網をかぶせておく必要性について伺います。

市東部地域においては畑作地帯であり、区画整理や農道等の土地基盤が未整備のため

### 「積み問題」への取り組み姿勢は

閣議員(公明党)

「積み問題」は、近くて遠い目標であり、五〇％削減を目標に取り組み我々にも重くのしかかる課題であります。これまでに多くの議論が行われてきましたが、高座清掃施設組合の副組合長でもある市長に、当面する本市の積み問題への取り組み姿勢をお尋ねいたします。

過日、東京都日野市の「家庭ごみ半減へ」という新聞報道を目にしました。日野市では、近隣の処分場にてごみ処理をしていますが、この処分場は二十五市一町が利用している関係から、自治体ごとに搬入量が定められ、これを超

### 消防職場の早期改善を

池田議員(市政クラブ)

職員の仕事環境改善について市民に対し、最大のサービスを提供するために、職場の環境を整えることは大変重要なことであり、消防職場の改善すべき点を以前の本会議で指摘してから一年九ヶ月が経ちました。その間、どのような改善をされたのか伺います。

### 市長の退職金について

岡田議員(市民の党)

市長の政治姿勢について市長の退職金について伺います。市職員の退職金基金が、来る大量退職時にマイナスになります。そのような中、市長の退職金の占める割合が

通して、市としてのご所見をお示しください。

市長 ごみの減量化・有料化についての責任主体は排出者であり、市は事業主体であると考えています。

直接的には排出者である市民の方々の認識を高めていただくことが必要であると思っております。当然、市としても啓蒙普及を絶えずしていくことは言うまでもありません。日野市の例をご紹介いただきましたが、やはり、市民との徹底した対話、一体となった施策展開は必要であると考えます。また、本市の場合は、広域的な対応もありますから、それらを含め今後の課題として受けとめさせていただきます。

### 衛生面に対するマニュアルづくり等が必要と思えますが、ご所見を伺います。

また、平成八年十月に施行された消防職員協議会は、全職員が自由に意見を提言でき機能を十分に発揮すれば大変すばらしいものになると思えます。委員の構成、開催状況、審議内容等について伺います。

消防長 改善点は、現庁舎に汚物洗浄場の設置等を行っています。なお、消防庁舎建設検討委員会及び作業部会については、現在それぞれ検討を進めているところです。

衛生面については、毎月産業医による問診等を実施、今後は管理職による聴取も実施したい。また、衛生面のマニュアルについては、隊員の責任者の指示による対応を考えています。

消防職員協議会の構成は、委員長に次長、職員推薦と消防長が指名する委員は、本部及び各署からそれぞれ選任しました。開催状況は、平成八年から毎年実施し、前年度は開催二回で意見書十九件、今年度も開催二回で意見書四十一件、内容は、仮眠室の個室化、夜間警備勤務の廃止、庁舎施設の改善等です。

いやしくも市長の退職金は一般財源から支払われるわけですが、私はこれだけの成績・実績を残した、だからこれだけの報酬をもらって当然だという、プロ野球選手のようなアピールがあってもいいのではないのでしょうか。よく働いていることに対する功績、功利的なものだというご自負があるのでしょうか、ご所見を伺えればと思います。

市長 何か私の退職金のご所見をお示しください。

中澤議員(日本共産党) 市長の政治姿勢について四月一日からサラリーマンの医療費窓口負担が三割になる。これは一世帯当たり年間四千円の値上げで、国民全体では一兆五千億円余の負担増となり、国民の間から強い反対の声が出ている。

地方議会においても、三月の予算議会では、健康保険本人三割負担の凍結や延期を求める意見書が相次ぎました。医療費の値上げは、必要な

アについては、毎月産業医による問診等を実施、今後は管理職による聴取も実施したい。また、衛生面のマニュアルについては、隊員の責任者の指示による対応を考えています。

委員長に次長、職員推薦と消防長が指名する委員は、本部及び各署からそれぞれ選任しました。開催状況は、平成八年から毎年実施し、前年度は開催二回で意見書十九件、今年度も開催二回で意見書四十一件、内容は、仮眠室の個室化、夜間警備勤務の廃止、庁舎施設の改善等です。

とまでご心配をいただきましたが、私にしてみれば、岡田議員からなぜそこまで言われなければいけないのかと、こんな感じでございます。私の退職金については、言うまでもなく均衡の原則により条例で定められているわけですから、その多寡については一切言及いたしません。岡田議員から指摘されるまでもなく、みずから判断すべき問題であると考えております。

市長 何か私の退職金のご所見をお示しください。

中澤議員(日本共産党) 市長の政治姿勢について四月一日からサラリーマンの医療費窓口負担が三割になる。これは一世帯当たり年間四千円の値上げで、国民全体では一兆五千億円余の負担増となり、国民の間から強い反対の声が出ている。

地方議会においても、三月の予算議会では、健康保険本人三割負担の凍結や延期を求める意見書が相次ぎました。医療費の値上げは、必要な

アについては、毎月産業医による問診等を実施、今後は管理職による聴取も実施したい。また、衛生面のマニュアルについては、隊員の責任者の指示による対応を考えています。

小野議員(公明党)

福祉問題について高齢化の進行に伴い、市民の健康対策は各自自治体の施策の重要な柱となっております。自治体の財政を圧迫する医療費の増加に、どう対処するののかも重要な課題です。

国は平成十五年当初予算に、健康づくり疾病予防対策等の推進・介護予防・地域支え合い事業の推進として、四百五十億円の予算を計上しました。この施策は、高齢者ができる限り要介護状態にならず、自立した生活が送れるよう転倒骨折予防教室・外出支援サービス等の事業を総合的に推進する高齢者筋力トレーニングなどの事業です。

本市におきましても、平成十三年度から健康キネズ事業や健康学習事業等、そして本年、健康文化都市大学の開催などさまざまな取り組みがされておりますが、健康に

について幅広い視点から学習するソフト面と、健康な体づくりの第一歩であるウォーキング事業などを踏まえた、筋力

担に下げて、健保と公平化を図ることを国会で当時の渡辺恒三厚生大臣が約束している。この約束から言えば、二割から三割にはならず、三割の国保を二割に引き下げるといのが当然なことです。

健保財政の悪化の最大の要因は、老人医療で二・三割、国保事業で二・二割、政府管掌健康保険で三・四割、国庫補助が削減されているからです。「健保財政の赤字解消は、国庫補助の還元と高すぎる薬剤費にメスを入れること」と言うのが日本共産党の

主張です。

市長 国保の被保険者の構成が高齢者・無職者・低所得者になっているので、国民医療を支える安定した保険制度が大事です。また、国保の被保険者は政府管掌健保などに比べて給付が低いのに保険料負担が重くなっています。したがって、国の責任と負担で実効性のある財政措置が必要

です。また、医療制度だけでなく、今後の年金・医療・介護というトータル的な社会保障の議論と試練が必要だと考えています。

トレーニング等ハード面での施策展開も必要と考えますが、ご所見をお伺いします。また、本市の特色を生かすために「健康都市」あるいは「健康文化都市宣言」等で、市民意識の高揚を図り、生涯を通じて健康で安心して暮らせるまちづくりをさらに積極的に推進する取り組みについてご所見をお伺いいたします。

市長 出前健康教室など本市におきましては、国に先駆けて対応いたします。改めて高齢者筋力トレーニング事業の内容等を正確に把握し、補助事業との適応性などよく精査し、今後の高齢者健康事業への整合性なども含めて勉強させていただきます。

また、一昨年から健康懇話会等の提言に基づいて、それぞれの健康事業を展開してありますが、「健康文化都市宣言」をすることは、それに見合う内容が必要だと思っております。その宣言にふさわしい事業とするため、もう少しその事業充実に努めさせていただきます。

市長 国保の被保険者の構成が高齢者・無職者・低所得者になっているので、国民医療を支える安定した保険制度が大事です。また、国保の被保険者は政府管掌健保などに比べて給付が低いのに保険料負担が重くなっています。したがって、国の責任と負担で実効性のある財政措置が必要

です。また、医療制度だけでなく、今後の年金・医療・介護というトータル的な社会保障の議論と試練が必要だと考えています。

健康に配慮した施策を